

みずほCustomer Desk Report 2017/12/19号(As of 2017/12/18)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.83
TKY 9:00AM	112.73	1.1743	132.39	1.3317	0.7648
SYD-NY High	112.84	1.1834	133.01	1.3418	0.7678
SYD-NY Low	112.31	1.1738	132.10	1.3310	0.7641
NY 5:00 PM	112.54	1.1782	132.60	1.3381	0.7665
NY DOW	24,792.20	140.46	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	6,994.76	58.18	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,690.16	14.35	米国2年債	1.8298	▲0.81bp
日経平均	22,901.77	348.55	米国5年債	2.1665	1.52bp
TOPIX	1,817.90	24.43	米国10年債	2.3933	4.30bp
シカゴ日経先物	23,010	280	独10年債	0.3065	0.75bp
ロンドンFT	7,537.01	46.44	英10年債	1.1470	▲0.30bp
DAX	13,312.30	208.74	豪10年債	2.5505	3.10bp
ハンセン指数	29,050.41	202.30	USDJPY 1M Vol	6.38	▲0.02%
上海総合	3,267.92	1.79	USDJPY 3M Vol	7.48	▲0.04%
NY金	1,265.50	8.00	USDJPY 6M Vol	8.03	▲0.04%
WTI	57.22	▲0.08	USDJPY 1M 25RR	-0.55	Yen Call Over
CRB指数	185.42	0.89	EURJPY 3M Vol	7.80	0.02%
ドルインデックス	93.71	▲0.22	EURJPY 6M Vol	8.14	▲0.02%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月18日	8:50	日 貿易収支	11月 ¥113.4B	-¥40.0B
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)	11月 0.1%/1.5%	0.1%/1.5%

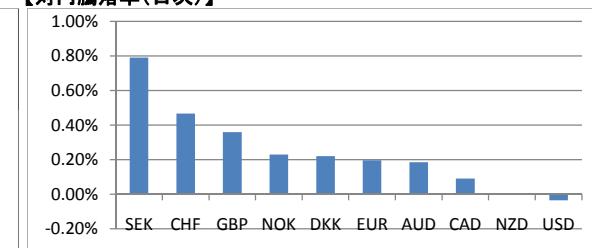
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月19日	9:30	豪 RBA議事録(12/5開催分)	-	-
	18:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	12月 117.5/110.7/124.7	117.5/111.0/124.4
	22:30	米 住宅着工/建設許可件数	11月 1250K/1270K	1290K/1316K
	22:30	米 経常収支	3Q -\$116.2B	-\$123.1B

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.20-112.80	1.1740-1.1820	132.00-133.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円は、下に行ってこいの展開。クリスマス休暇前の閑散相場の様相を呈する中、税制改革法案の過度な期待感が後退し、小幅にドルが売られた。ただし、最近のイールドカーブのフラット化にも一部利益確定の動きが見られ、米長期金利が上昇。金利上昇の流れを受けてドル円は反発し、結局112円半ばでのクローズとなった。本日のドル円相場はクリスマス前の閑散相場が継続し、112円台半ばでの横ばい推移を予想する。米税制改革法案の採決は、本日の下院での採決が見込まれているが、協議が難航することは想定しにくく、特段イベントしされないであろう。

東京	週明け112.65レベルでオープン後、流動性が極めて薄い中でドル円は一時112.45をタッチする場面が見られたものの、直ぐに112.60近辺まで反発。その後、本邦11月貿易収支が発表され、1,134億円の黒字(予想▲40億円の赤字)と市場予想を大きく上回る黒字額となるも反応は限定的。かかる中、東京時間のドル円は112.73レベルでオープン。仲値にかけてドル買い優勢の流れとなり、一時112.84をつけるも直ぐに112.70近辺まで押し戻される展開。午後に入り、日経平均株価が前日比300円超まで上げ幅を拡大するもドル円の反応は鈍く、特段目新しい材料が無い中で112.65を挟んでの揉み合い推移に終始。結局、112.63レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.63レベルでオープン。米税制改革法案年内成立期待から米株先物は堅調推移するも為替は反応薄。新規材料難から112円台半ばでの様子見ムードが続く112.51レベルでニューヨークへ渡った。ロンドンでは1.3346レベルでオープン。良好な英経済指標に加え、ドルの調整売りの流れから1.3376まで上昇。そのまま高値圏でニューヨークへ渡った。(00531 444 179 ロンドン・トル・フリー・西海)
ニューヨーク	NY時間のドル円は112.51レベルでオープン。朝方は狭いレンジ内での推移が続くが、クリスマス休暇が近づき薄利取引の中、ドル売りが優勢となり一時安値となる112.31まで下落する。しかし、売りが一巡すると米金利が上昇する動きを受けドル買い戻しが優勢となり、112.61まで反発。終盤に掛けて療養中のため欠席のマケイン氏以外の51名の上院共和党議員が全員法案可決に賛成とのニュースが流れるものの、閑散な取引が続く112.54レベルでクローズした。尚、下院共和党が税制改革法案について本日の会議を行うとのヘッドラインが伝わるも、こちらも反応は限定的となった。一方、ユーロ圏11月CPI(確報値)が予想通りとなり、この結果を受けたユーロドルの反応は限定的となるが、ドル売り優勢の流れからじり高で推移し1.1796レベルでNYオープン。朝方は米金利低下を受けたドル売りにユーロドルはじりじりと下値を切り上げ、1.1834まで上昇。しかしその後は米金利が上昇に転じたことでユーロドルは1.1775まで反落する。終盤に掛けては狭いレンジ内での推移が続く。1.1782レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:橋・西谷